

氏名 櫛引 素夫(KUSHIBIKI Motoo)

所属 社会学部社会学科

職種 教授

[履歴]

[学歴]

1985年3月 東北大学理学部地理学科卒業

1987年3月 東北大学大学院理学研究科（地学専攻）博士前期課程修了

2006年3月 弘前大学大学院地域社会研究科（後期3年博士課程）修了

[学位]

理学修士

博士（学術）

※専門地域調査士（日本地理学会）

[職歴]

1986年4月 東北学院榴ヶ岡高校非常勤講師（1987年3月まで）

1987年4月 株式会社東奥日報社（2013年3月まで）

[受賞]

特記事項なし

[所属学会]

日本地理学会、人文地理学会、東北地理学会、経済地理学会、日本都市学会、日本地域政策学会、地域経営学会、日本メディア学会、公共コミュニケーション学会、日本スクール・コンプライアンス学会、日本災害・防災考古学会

[教育活動]

[担当科目]

キャリア特別実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、メディア論、地域社会調査法、コミュニティ専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、社会調査実習、コミュニティ研究入門（オムニバス）

[卒業研究指導]

2025年度：コミュニケーション専門演習Ⅲ・Ⅳ（12人）、社会学専門演習Ⅳ（1人）

2024年度：コミュニケーション専門演習Ⅲ・Ⅳ（13人）、社会学専門演習Ⅲ・Ⅳ（1人）

2023年度：社会学専門演習Ⅲ・Ⅳ（1人）

2022年度：社会学専門演習Ⅲ・Ⅳ（11人）、社会学演習Ⅵ（1人）

2021年度：社会学専門演習Ⅲ・Ⅳ（7人）

2020年度：社会学演習Ⅴ・Ⅵ（12人）

2019年度：社会学演習V・VI（11人）

2018年度：社会学演習V・VI（6人）

2017年度：社会学演習V・VI（12人）

2016年度：社会学演習V・VI（12人）

2015年度：社会学演習V・VI（11人）

[ゼミ指導]

2025年度：コミュニティ専門演習I・II（8人）

2024年度：コミュニティ専門演習I・II（10人）

2023年度：コミュニティ専門演習I・II（12人）

2022年度：社会学専門演習I・II（3人）、社会学演習IV（1人）

2021年度：社会学専門演習I・II（11人）

2020年度：社会学専門演習I・II（8人）

2019年度：社会学演習III・IV（12人）

2018年度：社会学演習III・IV（11人）

2017年度：社会学演習III・IV（6人）

2016年度：社会学演習III・IV（11人）

2014年度：社会学演習II（16人）

社会学演習III（15人）

※社会学演習IV（26人＝菅ゼミ）サポート

2013年度：基礎演習A（15人）

社会学演習II（17人）

社会学演習III（11人）

社会学演習IV（9人）＝幸畠プロジェクト・サポート

[教育指導に関する特記事項]

専門地域調査士（日本地理学会認定）や防災士（日本防災士機構認定）の視点を生かし、学修と地域貢献・社会貢献活動、さらに就職活動を一体化させた指導をイメージして、一つの能力や経験の獲得が、他の領域へ連鎖的に発展・展開していくことを実感させる授業・指導を目指している。

2020年度のオンライン授業導入を契機に、各科目における指導をデジタル志向にシフトさせ、Zoom・Teams、YouTubeを組み合わせたハイフレックス型へ転換した。さらに、ソーシャルメディアやマスメディア、ネットメディアを活用し、時事の話題を可能な限り取り入れながら、基礎的な知識と体系だった思考、リテラシー（読解力・表現力）の育成に努めている。授業は毎回、ハイフレックス型で実施し、授業動画を録画して、復習や補講に活用している。

特に新聞については、学生が情報を得るだけでなく、自らを内省するツールとして

も積極活用している。パワーポイントやオンラインのビデオ・コンテンツを積極的に採り入れ、また、各授業とも原則としてミニ・リポートを毎回提出させて、アクティブ・ラーニングの進展を図るとともに、卒業生や先輩学生、外部スピーカーを直接、またはオンラインで招き、「社会の中の大学」を実感させる仕組みづくりに取り組んでいる。

大学と協力関係にある幸畠団地地区まちづくり協議会や市内の地域づくり団体と積極的に手を携え、大学の使命となっている教育・研究・社会貢献活動が融合した授業の実現を目指し、充実した学修や研究活動が、就職活動、ひいては社会人としての活動の充実につながる事実を、多面的に学生に伝えることを心がけている。

[研究活動]

[研究テーマ]

- 地理学分野(整備新幹線の政治的・経済的・社会的諸課題、医療と新幹線、空き家問題の現状把握と対策、人口減少・過疎問題など)
- 幸畠プロジェクト(青森市・幸畠地域の地域社会研究ならびに地域貢献活動)
- 地域防災力の向上
- メディア論(特に新聞)

[著書、論文、総説]

▽著作(単著)

- 1.櫛引素夫:「地域振興と整備新幹線ー『はやて』の軌跡と課題」、弘前大学出版会、136p、2007
- 2.櫛引素夫:「新幹線で地域をどう変えるのか—フォーラム新幹線学2020」、古今書院、144p、2020

▽著作(共著・執筆分担)

- 1.山田浩久編著:「地域連携活動の実践—大学から発信する地方創生」、海青社、221p、2019
- 2.青森地域社会研究所編:「変化する青森県の経済と産業」、東奥日報社、340p、2019
- 3.由井義通・久保倫子・西山弘泰編「都市の空き家問題なぜ? どうする? 地域に即した問題解決にむけて」、古今書院、212p、2016
- 4.弘前大学震災研究交流会編:「東日本大震災 弘前大学からの展望 2011-2012—それぞれの3. 11—」、弘前大学出版会、2013

▽論文

1. 櫛引素夫（2025）津軽線の部分廃線をめぐる経緯の検証と展望、弘前大学大学院 地域社会研究科年報、18、49-63
2. 櫛引素夫（2023）津軽線の行方と鉄路の存廃をめぐる論点、青森大学付属総合研究所紀要、25（1）、1-13
3. 櫛引素夫（2022）世界遺産登録と新幹線は地域をどう変えるのか — 北海道・北東北エリアの観光に注目して、弘前大学大学院 地域社会研究科年報、18、87-105
4. 植 遙一朗、櫛引 素夫（2021）東日本大震災での高速交通機関の補完関係と復興期における動向、季刊地理学、73(3)、164-177
5. 櫛引素夫（2021）地理学と地域メディアの連携の可能性:— 東日本大震災後の東北地方における防災・災害報道に向けて —、季刊地理学、73(3)、178-193
6. 櫛引素夫（2019）都市郊外の空き家の調査・分析における協働の試行—青森市・幸畠地と青森大学の事例—、青森大学付属総合研究所紀要、20(1・2)、1-21
7. 櫛引素夫（2018）北信越地域における北陸新幹線開業1年後の変化と課題、青森大学付属総合研究所紀要、18、1-13
8. 櫛引素夫（2017）コンパクトシティ政策と郊外の空き家問題—青森市の事例からの論点整理、青森大学付属総合研究所紀要、17(2)、26-42
9. 櫛引素夫（2016）北信越地域における北陸新幹線開業直後の変化と課題、青森大学付属総合研究所紀要、17(1)、32-44
10. 石橋 修、櫛引 素夫ほか（2015）郊外型住宅団地の課題と電子エコマネーの可能性— 青森市・幸畠地の事例 —、八戸学院大学紀要、51、1-11
11. 櫛引素夫（2014）青森市の観光ボランティアにみる東北新幹線開業への評価、青森大学付属総合研究所紀要、16(1)、14-22
12. 櫛引素夫（2014）北陸新幹線開業をめぐる地域課題—上越、富山、金沢地域の比較、青森大学研究紀要、36(3)、219-238
13. 櫛引素夫ほか（2014）幸畠地における居住動向の変化と地域課題、青森大学付属総合研究所紀要、15(1)、11-24
14. 櫛引素夫（2013）北海道新幹線開業への課題—道南地域と青森県を中心に、青森大学研究紀要、36(2)、33-52
15. 櫛引素夫、北原啓司（2006）東北新幹線八戸開業が地元にもたらした経済的、社会的变化と課題、弘前大学大学院地域社会研究科年報、2、79-95

▽論考・研究報告

1. 櫛引素夫（2025）整備新幹線・2024 年の俯瞰—北陸・敦賀延伸を中心に、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会／弘前大学大学院地域社会研究科監修、18、pp.1-17

- 2.櫛引素夫 (2024) 北陸新幹線延伸に対する敦賀市民の意識 2023年秋・アンケート結果の分析、青森大学付属総合研究所紀要、25 (2)、18-35
- 3.櫛引素夫、池田修真、大野愛梨、加藤未宙、木村拓海、高橋優誠、藤田奏、三浦紗綾、山田青空 (2024) 若者の投票率向上をめぐる検証と対話—青森大学における「ヤングフォーラム 2023」の実践から、青森大学付属総合研究所紀要、25 (2)、43-52
- 4.櫛引素夫 (2024) 整備新幹線・2024年に向けての論点整理—北陸・敦賀延伸と北海道・札幌延伸、地域医療をめぐってー、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会／弘前大学大学院地域社会研究科監修、17、13-30
- 5.櫛引素夫 (2023) 整備新幹線・2022年の地域政策的論点—敦賀延伸および西九州開業・札幌延伸をめぐって、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会／弘前大学大学院地域社会研究科監修、16、9-22
- 6.櫛引素夫 (2022) 新幹線と並行在来線を地域から考える、月刊「地理」、68 (1)、59-67
- 7.櫛引素夫、相坂匠飛、雷霄峰、石倉翠聖、工藤康晴、鈴木流由、三上愛莉 (2022) 青森大学生は2022年参院選をどうみたか、青森大学付属総合研究所紀要 24 (1), 30-48
- 8.櫛引素夫・三原昌巳・大谷友男 (2022) 北海道新幹線開業が青森市の地域医療にもたらした変化—青森新都市病院の事例と今後の展望ー、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会／弘前大学大学院地域社会研究科監修、15、1-14
- 9.櫛引素夫・工藤裕介・竹内紀人 (2022) 青森県における移住・定住施策の傾向についてー市町村アンケートとヒアリングからー、青森大学付属総合研究所紀要、23 (2)、8-27
- 10.澁谷泰秀・関智子・櫛引素夫・松本大吾 (2022) 大学の遠隔授業等の根本的改善に必要な視点ー留学生への遠隔授業及び認知科学的視点ー、青森大学付属総合研究所紀要、23 (2)、40-54
- 11.櫛引素夫・三原昌巳 (2021) 整備新幹線ネットワーク・2020年の変曲点—COVID-19の影響および建設の停滞ー、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会／弘前大学大学院地域社会研究科監修、14、1-16
- 12.櫛引素夫・竹内紀人・大谷友男・永澤大樹 (2021) 新幹線開業が東北北部・九州地方にもたらした変化ー10周年オンライン・フォーラムからの検討ー、青森大学付属総合研究所紀要、22 (2)、1-20
- 13.櫛引素夫 (2021) リニア中央新幹線 Post COVID-19への視点：整備新幹線沿線から考える(第8回越境地域政策研究フォーラム；スーパー・メガリージョンの国土計画的変容)、愛知大学三遠南信地域連携研究センター紀要、7、111-115
- 14.櫛引素夫・松本大吾・澁谷泰秀 (2021) 青森大学におけるオンライン授業の課題と可能性ー総合経営学部・社会学部における実践からー、青森大学付属総合研究所紀要、23 (1)、11-21

- 15.櫛引素夫・三原昌巳（2020）新幹線は『暮らし』を守れるか—『人口減少社会の再デザイン』の視点から—、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会／弘前大学大学院地域社会研究科監修、13、19-30
- 16.櫛引素夫（2020）青森県と道南における観光の連携と課題—北海道新幹線開業を契機として、青森大学付属総合研究所紀要、21（1/2）、26-40
- 17.山田 浩久,宮原 育子,櫛引 素夫,林 玉恵,山口 泰史,初澤 敏生（2020）Post COVID-19に向けた東北の観光戦略、経済地理学年報、66(3)、237-247
- 18.櫛引素夫（2020）新幹線沿線の『越境×組織化』にみる地域の再編・再構成、三遠南信連携地域研究センター紀要、6、32-33
- 19.櫛引素夫（2020）「コロナ時代」の整備新幹線—影響の速報的な整理とオンライン研究・検討の実践報告、青森大学付属総合研究所紀要、22（1）、23-36
- 20.櫛引素夫（2019）整備新幹線は地域をどうえるのか—青函・北陸・九州の2018年度調査から—、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会／弘前大学大学院地域社会研究科監修、12、1-22
- 21.櫛引素夫（2019）都市郊外の空き家の調査・分析における協働の試行—青森市・幸畠団地と青森大学の事例—、青森大学付属総合研究所紀要、20（1/2）、1-21
- 22.櫛引素夫（2019）上越・北陸新幹線と時代の狭間、月刊「地理」、64（6）、27-35
- 23.櫛引素夫・西山弘泰（2018）『新幹線学』の構築は可能か—『ポスト整備新幹線』時代に向けての論点整理と評価法検討—、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会／弘前大学大学院地域社会研究科監修、11、11-23
- 24.櫛引素夫（2018）青函トンネル開通および北海道新幹線開業が地域の交通・交流にもたらした影響、運輸と経済、78（10）、120-127
- 25.櫛引素夫（2017）北信越地域における北陸新幹線開業1年後の変化と課題、青森大学付属総合研究所紀要、18（1/2）、1-13
- 26.櫛引素夫（2017）整備新幹線をめぐる沿線の『自己評価』について—新しい独自の指標づくりは可能か—、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会／弘前大学大学院地域社会研究科監修、10、69-76
- 27.櫛引素夫（2016）北海道新幹線開業をどうみるか—『整備新幹線論』構築への論点整理の試み、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会／弘前大学大学院地域社会研究科監修、9、93-104
- 28.櫛引素夫（2016）コンパクトシティ政策と郊外の空き家問題—青森市の事例からの論点整理、青森大学付属総合研究所紀要、17（2）、26-42
- 29.小久保温、櫛引素夫ほか（2016）エコマネーWeb プラットフォームのドメイン・モデルの設計、青森大学付属総合研究所紀要、17（1）、23-31
- 30.櫛引素夫（2015）整備新幹線が地域にもたらす変化の検討—『存在効果』を中心に、地域社会研究、弘前大学地域社会研究会編;弘前大学大学院地域社会研究科監修、8、

31. 櫛引素夫（2015）「北陸新幹線開業が北信越地域にもたらす変化と地域課題」、青森大学付属総合研究所紀要、16（2），25-35
32. 櫛引素夫（2014）『新幹線効果』を考える－八戸・弘前・青森』、地域社会研究／弘前大学地域社会研究会編；弘前大学大学院地域社会研究科監修、7、135-145
33. 櫛引素夫（2013）「北海道新幹線開業への課題－道南地域と青森県を中心に」、青森大学研究紀要、36(2)、33-52
34. 櫛引素夫（2012）「震災とメディア：東北の地方紙を中心に」、地域社会研究／弘前大学地域社会研究会編、弘前大学大学院地域社会研究科監修、(5)、55-64
35. 櫛引素夫（2012）「フォーラム「東日本大震災以降の地理学とマス・メディアの関係性の課題」、季刊地理学、64(1)、12-15
36. 櫛引素夫（2010）「新青森開業の準備はなぜ『進まない』か－東北新幹線の政策的な課題と可能性」、地域社会研究／弘前大学地域社会研究会編；弘前大学大学院地域社会研究科監修、3、27-37
37. 櫛引素夫（2002）「フォーラム「地理と学校と新聞－NIE の持つ可能性」、季刊地理学、54(4)、251-25
38. 櫛引素夫（2002）「フォーラム「不透明な東北新幹線八戸延伸の効果」、季刊地理学、54(2)、117-120

[学会発表]

1. 「青森市における雪対策の現状と課題をめぐる論点整理」、東北地理学会・春季学術大会、2025年5月18日、東北大学
2. 「青森市・幸畠団地にみる郊外型団地の課題と可能性－2013年以降の変化を中心にして」、2025年4月26日、経済地理学会北東支部4月例会、東北学院大学
3. 「整備新幹線と基本計画路線をめぐる2025年の論点－各地での対話とヒアリングから」、日本地理学会・春季学術大会、2025年3月19日、駒澤大学
4. 「JR津軽線の試練（第3報）－部分廃線決定とNPO法人等による運営の行方」、日本地理学会・秋季学術大会、2024年9月14日、南山大学（金仙熙と連名）
5. 「北陸新幹線・延伸半年後の概観－敦賀市民アンケートの速報を中心に」、東北地理学会・秋季学術大会、2024年11月3日、山形大沢
6. 「北陸新幹線・敦賀延伸と能登半島地震－東日本大震災などとの対比から」、日本地理学会春季学術大会、2024年3月20日、青山学院大学
7. 「北陸新幹線・敦賀延伸が福井県域に及ぼす影響（第一報）－地域医療と敦賀市民アンケートを中心に－」、東北地理学会・秋季学術大会、2023年10月21日、秋田大学
8. 「北陸新幹線・敦賀延伸の地域課題整理」、東北地理学会・春季学術大会、2023年5

月 20 日、東北大学

9. 「JR 津軽線の試練（第 2 報）－沿線の地域活動を交えて」、日本地理学会・秋季学術大会、2023 年 9 月 18 日、関西大学
10. 「上信越地域における高速交通体系を利用した医療従事者の通勤圏拡大と医療提供体制の変化」、日本地理学会・春季学術大会、2023 年 3 月、東京都立大学、（ポスター発表、三原昌巳・大谷友男と連名）
11. 「転機の整備新幹線をめぐる越境連携の論点整理」、愛知大学・三遠南信連携地域研究センター・第 10 回越境フォーラム、オンライン、2023 年 2 月 11 日
12. 「JR 津軽線の試練と今後の展望（速報）」、東北地理学会・秋季学術大会、オンライン、2022 年 10 月 15 日
13. 「並行在来線が地域医療に持つ可能性と課題—IGR いわて銀河鉄道の通院支援サービス」、日本地理学会・秋季学術大会、2022 年 9 月 24 日、香川大（大谷友男と連名）
14. 「鉄路の行方をどうみるか—JR 津軽線の事例からー」、経済地理学会北東支部例会、2022 年 8 月 29 日、オンライン
15. 「青森県における移住・定住促進策の現状と課題（第 2 報）—2021 年の市町村アンケートからー」、東北地理学会・春季学術大会、2022 年 5 月 15 日、東北大学（工藤裕介・竹内紀人と連名）
16. 「地方総合病院における医療従事者確保の動向—上越および北信医療圏の事例」、日本地理学会・秋季学術大会、2022 年 3 月 20 日、オンライン（三原昌巳・大谷友男と連名）
17. 「新幹線駅エリアの『メディア化』が持つ地理学的な可能性と課題（第三報）－道南・青森エリアの交流とオンライン社会への対応ー」、日本地理学会春季・学術大会、2022 年 3 月、オンライン（ポスター発表）
18. 「津軽半島北部における「越境」の試み—北海道新幹線と JR 津軽線ー」、愛知大学・三遠南信連携地域研究センター第 9 回越境地域政策研究フォーラム、2022 年 1 月 29 日、オンライン
19. 「青森県における移住・定住促進策の現状と課題—新幹線との関連に注目してー」、東北地理学会・秋季学術大会、2021 年 11 月 7 日、オンライン（工藤裕介・竹内紀人と連名）
20. 「新幹線と地域医療の関係性—新青森駅前の事例」、日本地理学会・秋季学術大会、2021 年 9 月 18 日、オンライン（三原昌巳・大谷友男と連名）
21. 「整備新幹線は北東北と九州をどう変えたのか；開業 10 年目の検討」、日本地理学会・春季学術大会、2021 年 3 月、オンライン（ポスター発表、竹内紀人・大谷友男・永澤大樹と連名）
22. 「リニア中央新幹線 Post COVID-19 への視点—整備新幹線沿線から考える」、愛知

大学・三遠南信連携地域研究センター第 8 回越境地域政策研究フォーラム、2021 年 2 月 27 日、オンライン

23. 「『ウィズ・コロナ』時代の整備新幹線の行方」、東北地理学会・秋季学術大会、2020 年 10 月 10 日、オンライン
24. 「新幹線駅エリアの『メディア化』が持つ地理学的な可能性と課題（続報）－コロナ禍の影響と克服の試み－」、日本地理学会・秋季学術大会、2020 年 8 月、オンライン（ポスター発表）
25. 「東北の空路と新幹線に及んだ COVID19 の影響」、経済地理学会北東支部・オンライン研究集会「Post-COVID19 に向けた東北の観光戦略」、2020 年 8 月 8 日
26. 「人口減少地域における在来線・整備新幹線の利用状況と行方－津軽半島の住民調査から－」、日本地理学会・春季学術大会、2020 年 3 月＝中止、発表実績としてカウント
27. 「新幹線沿線の『越境×組織化』にみる地域の再編・再構成」、愛知大学三遠南信地域連携研究センター・第 7 回越境地域政策研究フォーラム、2020 年 1 月 25 日、三遠南信連携地域研究センター
28. 「新幹線駅エリアの『メディア化』が持つ地理学的な可能性と課題」、日本地理学会・秋季学術大会、2019 年 9 月 22 日、新潟大学（平原匡と連名）
29. 「青森県と道南における観光の連携と深化－北海道新幹線と世界遺産－」、東北地理学会・秋季学術大会、2019 年 9 月 14 日、北海学園大学
30. 「整備新幹線沿線における開業後の変化の概観－九州・北陸・東北・北海道－」、東北地理学会・春季学術大会、2019 年 5 月 17 日、青葉山北キャンパス（竹内紀人、野里和廣と連名）
31. 「空き家問題と地域再生をめぐる住民と大学の協働－青森市・幸畠団地と青森大学の事例から－」、日本地理学会・春季学術大会、2019 年 3 月 20 日、専修大学（西山弘泰と連名）
32. 「北海道新幹線開業に伴う海陸の交通体系の構造変化について」、経済地理学会北東支部例会、2019 年 2 月 23 日、北海学園大学
33. 「青函越境連携を起点とした「新幹線学」検討の試み：信越との連携を視野に」、越境地域政策研究フォーラム、2018 年 12 月 22 日、三遠南信地域連携研究センター
34. 「幸畠団地の新築住宅・空き家の分布と特徴について」、幸畠団地居住フォーラム 2018、2018 年 12 月 7 日、青森大学第一会議室（笹森那香、相馬蓮、津田 昌哉、森慎太郎、小嶋志歩と連名）
35. 「北海道新幹線開業を契機としたフェリー各社と陸上の連携」、東北地理学会・秋季学術大会・公開シンポジウム「観光の組織化」は東北をどう変えるか、2018 年 10 月 28 日、青森市・青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸
36. 「幸畠団地における新築住宅の分布と特徴について（速報）」、東北地理学会・秋季学

術大会、2018年10月27日、青森市・ワ・ラッセ（ 笹森那香、相馬蓮、津田昌哉、森慎太郎、小嶋志歩と連名）

37. 「これから着工・開業する新幹線地域に地理学は何ができるか—『新幹線学』検討の可能性」、経済地理学会・第65回東北大会、2018年5月27日、東北大学理学研究科
38. 「青森市の都市政策の現状と住民活動の変容—『地域と大学の接点づくり』模索の試み」、青森大学・研究ブランディング第1回学内研究会、2018年6月4日、青森大学・631教室
39. 「これから着工・開業する新幹線地域に地理学は何ができるか—『新幹線学』検討の可能性」、経済地理学会・第65回東北大会、2018年5月27日、東北大学理学研究科
40. 「青森市の都市政策の現状と住民活動の変容」、東北地理学会・春季学術大会、2018年5月20日、東北大学理学研究科
41. 「『道の駅』と大学の連携が持つ課題と可能性— 青森大学の事例から」、日本地理学会・春季学術大会・地域連携活動研究グループ、2018年3月23日、東京学芸大学
42. 「北海道新幹線開業に伴う青森・函館市民の意識変化」、日本地理学会・春季学術大会、2018年3月22日、東京学芸大学
43. 「学生の主体性に合わせた地域貢献・学内活動の構築・支援、および学修活動との連携に関する研究」、青森大学・教育研究プロジェクト成果最終報告会、2018年3月15日、青森大学・集いのスペース（沼田郷、坂井雄介と連名）
44. 「学生の主体性に合わせた地域貢献・学内活動の構築・支援、および学修活動との連携に関する研究」、青森大学・教育研究プロジェクト成果中間報告会、2017年12月22日、青森大学・集いのスペース（沼田郷、坂井雄介と連名）
45. 「整備新幹線開業に伴う地域間連携の変化—信越・青函地域の事例」、2017年9月29日、日本地理学会・秋季学術大会、三重大学
46. 「北海道新幹線開業に伴う青函圏と住民意識の変化」、東北地理学会・春季学術大会、2017年5月21日、仙台市戦災復興記念館
47. 「教育・研究と地域貢献活動の融合—『道の駅』、JR東日本との連携から」、日本地理学会・春季学術大会、2017年3月28日、筑波大学（地域連携活動研究グループ発表）
48. 「空き家管理事業の展開とその可能性」、日本地理学会・春季学術大会、2017年3月28日、筑波大学（西山弘泰=口頭発表者=、由井義通、若林芳樹と連名）
49. 「青森市・幸畑団地における転入者の実態調査試行—住民との協働に基づく大学の教育・地域貢献活動」、日本地理学会・春季学術大会、2017年3月28日、筑波大学
50. 「地域貢献活動と連携した授業展開の実践試行ならびに学生への効果の検証」、青森

大学研究プロジェクト・最終報告会、2017年3月17日、青森大学（沼田郷、坂井裕介と連名）

51. 「地域貢献活動と連携した授業展開の実践試行ならびに学生への効果の検証」、青森大学研究プロジェクト・中間報告会、2016年12月22日、青森大学（沼田郷、坂井裕介と連名）
52. 「地域政策形成へのステップーメディア・留学生を中心にして」、科学研究費・基盤研究（C）・成果報告研究会「人口減少社会と外国人・移民政策～青森県を事例として～」、2016年11月11日、青森大学
53. 「北陸新幹線開業後の地域変化—長野・上越・高岡の現状と課題ー」、日本地理学会・東北地理学会秋季学術大会、2016年9月30日、東北大
54. 「人口減少下の移住促進をめぐる地域課題の論点整理—青森県内のメディアの視点からー」、第63回東北社会学会、2016年7月31日、青森市・アスパム
55. 「東日本大震災とメディア」、第1回青森大学付属総合研究所研究会、2016年6月17日、青森市・フリーカフェしんまち
56. 「青森市におけるコンパクトシティ政策と郊外団地の関係性—幸畠団地の現状」、東北地理学会・春季学術大会、2016年5月14日、宮城教育大学
57. 「都市郊外への新幹線駅立地がもたらす地域課題—東北・北陸・北海道新幹線の事例から」、日本地理学会・春季学術大会、2016年3月21日、早稲田大学
58. 「遠隔地の自治体等に対する地域貢献活動の課題抽出ならびに改善案の検討」、青森大学教育研究プロジェクト最終報告会、2016年3月17日、青森大学
59. 「東北・北海道新幹線の行方」、青森大学・社会学部教員研究報告、2016年2月日、青森大学
60. 「北海道新幹線開業の特徴と課題—九州・北陸・東北との比較から」、経済地理学会北東支部・日本計画行政学会北海道支部・日本計画行政学会東北支部合同公開シンポジウム「北海道新幹線開業と北東日本の地域的展望・課題」、2016年2月13日、東北学院大学
61. 「遠隔地の自治体等に対する地域貢献活動の課題抽出ならびに改善案の検討」、平成27年度・青森大学教育研究プロジェクト中間報告会、2015年12月19日、青森大学
62. 「北陸新幹線をめぐる議論・視点の普遍性と個別性」、日本都市学会第62回大会シンポジウム報告、2015年10月31日、ホテルハイマート（新潟県上越市）
63. 「北陸新幹線開業直後における北信越地域の変化（速報）」、東北地理学会・秋季学術大会、2015年10月17日、上越教育大学
64. 「青森市幸畠団地における借り上げ空き家の活用事例と課題（第1報）」、東北地理学会・秋季学術大会、2015年10月17日、上越教育大学
65. 「北海道新幹線開業に対する青森県内の意識と課題—青森、弘前、八戸市の調査か

らー」、日本地理学会・秋季学術大会、2015年9月18日、愛媛大学

66. 「青森県の3市にみるまちづくりと大学の連携」、日本地理学会秋季学術大会シンポジウム「地方創生に向けたまちづくりに対する大学の役割」報告、2015年9月19日、愛媛大学
67. 「郊外型住宅団地の地域課題とコミュニティ再生・活性化—青森市・幸畠団地の事例」、東北地理学会・春季学術大会、2015年5月16日、仙台市戦災復興記念館（石橋修・柏谷至・佐々木てる・田中志子・小久保温・坂井雄介と連名）
68. 「北陸新幹線開業に関する地理学的な課題の検討」、東北地理学会・春季学術大会、2015年5月17日、仙台市戦災復興記念館
69. 「青森県の住民意識にみる東北新幹線の開業効果—青森、弘前、八戸市の調査から」、日本地理学会・春季学術大会、2015年3月28日、日本大学
70. 「道南開業の特徴と課題：九州・北陸・東北との比較から」経済地理学会北東支部11月例会、2014年11月15日、函館国際ホテル
71. 「新聞産業の現状とジャーナリズムの行方」、日本マス・コミュニケーション学会秋季研究発表会ワークショップ、2014年11月8日、東洋大学（藤森研と連名）
72. 「整備新幹線の開業に関する地理学的視点からの論点整理—東北・北海道新幹線の事例からー」、日本地理学会・秋季学術大会、2014年9月20日、富山大学
73. 「整備新幹線開業をめぐる空間的・時間的課題—北陸・北海道新幹線を中心にー」、東北地理学会・春季学術大会、2014年5月18日、仙台市戦災復興記念館
74. 「郊外型住宅団地における人口の変化と空き家の状況—青森市幸畠団地の事例からー」東北地理学会・春季学術大会、2014年5月18日、仙台市戦災復興記念館
75. 「災害と報道の狭間—地域防災力強化への視点ー」、弘前大学震災研究交流会、2013年12月10日、弘前大学
76. 「青森県の準限界集落にみる他出者の動きと内面」、青森大学地域貢献センター・国立民族学博物館共同研究会「人の移動と地域を考える」、2013年6月15日、青森大学
77. 「東日本大震災へのメディアの対応—東北の地方紙を中心にー」、東北地理学会・秋季学術大会、2011年10月9日、仙台市戦災復興記念館
78. 「東日本大震災とメディア・ビジネスモデル—東北の地方紙を中心にー」、東北地理学会・春季学術大会、2011年5月15日、仙台市戦災復興記念館
79. 「東北新幹線・新青森開業への対応と課題—八戸開業との対比からー」、東北地理学会・秋季学術大会、2009年10月3日、弘前大学
80. 「東北新幹線・新青森開業に向けての地域の諸課題」、東北地理学会・春季学術大会、2008年5月18日、宮城大学
81. 「東北新幹線八戸開業が住民にもたらした変化と課題」、日本都市学会第51回大会、2004年10月16日、千葉科学大学（北原啓司と連名）

82. 「東北新幹線八戸駅開業が地域に及ぼした効果・影響」、経済地理学会北東支部例会、2003年11月29日、東北学院大学
83. 「東北新幹線八戸駅開業に伴う変化(速報)」、東北地理学会・春季学術大会、2003年5月18日、仙台市戦災復興記念館
84. 「東北新幹線八戸駅開業に向けての地元の諸課題」、東北地理学会・秋季学術大会、2002年10月12日、弘前大学

[その他の著作物]

1. 青函トンネル開業36年：どうなる津軽線・北海道新幹線の行方、地域郷土研究総合誌「上磯の文化」、第8号、pp.16-24
2. 青森学術文化振興財団・令和6年度助成事業「北海道新幹線・札幌延伸への準備および北陸との協働-青函エリア発『新幹線学』構築の試みと提言(2)」成果報告書、あおもり新幹線研究連絡会(青森大学社会学部・櫛引素夫研究室)、2025年2月、98p
3. 津軽海峡をめぐって：「隔てる」と「結ぶ」(特集 海峡を渡る)、地理、70(3)、pp.25-34
4. 各地で探る地域交通の未来(第3回) 整備新幹線地域の課題と展望、地方財務／ぎょうせい編、840、pp.182-187
5. 各地で探る地域交通の未来(第2回)「巨大な条件変更」としての整備新幹線と並行在来線、地方財務／ぎょうせい、839、pp.188-193
6. 新幹線と観光の力で「人口減少社会の再デザイン」を—特集 変わる北陸観光、観光とまちづくり、2024・25(2)、pp.20-22
7. 青函トンネル・津軽海峡線の70年 どうなる貨物列車存続・北海道新幹線高速化、青函“考”路2024、pp.30-41
8. 青森学術文化振興財団・令和5年度助成事業「北海道新幹線・札幌延伸への準備および北陸との協働-青函エリア発『新幹線学』構築の試みと提言(1)」成果報告書、あおもり新幹線研究連絡会(青森大学社会学部・櫛引素夫研究室)、2024年2月、91p
9. 連載「SDGsと地域づくり～中小企業の視点から」、中小企業あおもり・2023年4月号～2024年3月号、青森県中小企業団体中央会
10. 北陸・福井県域と青函圏を考える：港・鉄道・リンク、青函“考路”2023、44-53、2023年6月
11. 青森学術文化振興財団・令和4年度助成事業「『人口減少×新幹線』社会の再デザイン③ポストコロナ時代の仕事づくり・働き方の研究と提言」成果報告書、あおもり新幹線研究連絡会(あおもり創生パートナーズ株式会社、青森商工会議所、青森大学社会学部・櫛引素夫研究室)、2023年2月、40p

12. 「青函圏」の足跡と北海道新幹線延伸の行方、青函“考路” 2022、42-53
13. 青森学術文化振興財団・令和3年度助成事業「『人口減少×新幹線』社会の再デザイン②ポストコロナ時代の移住・定住促進および受け皿づくりの研究と提言」成果報告書、あおもり新幹線研究連絡会（あおもり創生パートナーズ株式会社、青森商工会議所、青森大学社会学部・櫛引素夫研究室）、2022年2月、62p
14. 自著を語る・『新幹線は地域をどう変えるのか：フォーラム新幹線学2020』、月刊地理、66(6)、.116-121、2021年6月
15. 「『絶えざる最適化』どう追求：『巨大な条件変更』としての新幹線開業」、九州経済調査月報、75(919)、.7-1、2021.3
16. 青森学術文化振興財団・平成31年度助成事業「『人口減少×新幹線』社会の再デザイン①在来線の活用と町村部の振興」成果報告書、あおもり新幹線研究連絡会（一般財団法人青森地域社会研究所、青森商工会議所、青森大学社会学部・櫛引素夫研究室）、2020年2月、64p
17. 「もはや『4時間の壁』は無意味 新幹線もエアラインも重要 東京視点と違う『地方の論理』」、週刊東洋経済、6888号、56-57、2019.4
18. 「九州、北陸新幹線沿線の変化の検証に基づく、北海道新幹線の経済的、社会的活用法への提言」、平成30年度青森学術文化振興財団助成事業成果報告書、p48、2019.3
19. 「北海道新幹線を活用した青函圏の社会的・経済的な連携強化に関する調査と提言」、平成29年度青森学術文化振興財団助成事業成果報告書、p48、2018.3
20. 「北海道新幹線の『これまで』と『これから』：『青函圏』の行方と課題」、月刊れぢおん青森（青森地域社会研究所編）、2017年8月号、p.2-9
21. 「乗降人員数からは見えない 地方都市が命運託す 新幹線駅の明暗」、週刊東洋経済、2017年12月9日号、p.52-53
22. 「『地域貢献活動と連携した授業展開の実践試行ならびに学生への効果の検証』、平成28年度青森大学教育研究プロジェクト報告書、p24（沼田郷、坂井雄介と連名）
23. 「新幹線の来し方と行方」、地域調査士通信第5号「地域調査の現場」第5回、.3-4、日本地理学会、2017.4
24. 「北海道新幹線開業に伴う青函地域と住民の意識変化と提言」、平成28年度青森学術文化振興財団助成事業成果報告書、p48、2017.3
25. 「地域政策形成へのステップ一メディア・留学生を中心にして」、JSPS科研費・基盤研究（C）成果報告書「人口減少社会と外国人・移民政策～青森県を事例として～」（佐々木てる研究代表）、.71-95、2017.3
26. NPO法人ひろだいリサーチ、青森大学社会学部・櫛引研究室「地域社会・企業を通じて考える青森県内で『働く・生きる』ことのポテンシャル研究」事業実施報告書、p58、2017.2

27. 「道南・青森県圏の『これまで』と『これから』」、月刊地理、62 (3)、.2-9、2017.2
28. 「新幹線・第3の開業(下)」、青森総合卸センターニュース、第553号(3)、2016.8
29. 「新幹線・第3の開業(上)」、青森総合卸センターニュース、第552号(3)、2016.7
30. 「大都市部 与党への異論鮮明」2016年参院選寄稿、2016年7月14日付朝日新聞あおもり県版
31. 「遠隔地の自治体等に対する地域貢献活動の課題抽出ならびに改善案の検討」、平成27年度・青森大学教育研究プロジェクト報告書、6p(沼田郷、坂井雄介と連名)
32. 「国土政策と地域振興策から見た東北・北海道新幹線の意義」、新幹線ほくとう連携研究会報告書、.6-26、2016.4
33. 「『地図に残る仕事』の意義と重さ」、地図情報、137号、地図情報センター、p.23-25、2016.4
34. 「新幹線は国土をどう変えるのか」、週刊東洋経済・臨時増刊「鉄道全真相2016」、18-21、2016年5月4日号
35. 「九州新幹線の特性 他地域との比較から」、KER 経済情報、No.315、九州経済研究所、6-10
36. 「北海道新幹線開業に伴う青森地域の変化の検証準備と提言」、平成27年度青森学術文化振興財団助成事業成果報告書、p48、2016.3
37. 「北海道新幹線 赤字予想で険しい船出 國土的位置づけ再考を」、エコノミスト、94(11)、p.99、2016年3月15日号
38. 「『かがやき』のありかー北陸新幹線・開業1年」(北日本新聞、上・中・下、2016年3月12日、19日、26日)
39. 「開業まであと4ヶ月 北海道新幹線の苦悩」、週刊東洋経済(6630)、2015.11.28、.62-64
40. 「『ちょうどよさ』取り戻せる社会ー『めざす社会って』どんなイメージって聞かれたら」、社会科教育、673(2015年5月号)、p5、明治図書
41. 「北陸新幹線の開業が東北地方の交通に及ぼす広域的変化の基礎調査」、平成26年度ほくとう総研地域活性化連携支援事業・成果報告書、p21、2015.3
42. 「東北新幹線の開業が地元の生活に及ぼした影響の検証ならびに北海道新幹線の開業準備の検討と提言」、平成26年度青森学術文化財団助成事業・成果報告書、p48、2015.3
43. 「青森市・幸畠団地の取り組みー連載・空き家が増える都市と郊外 なぜ? どうする? 第6回」、月刊地理、60(3)、72-78
44. 「社会に向き合う覚悟を—メディア活用の重要性」、月刊地理、60(1)、32-35
45. 「東北新幹線の歴史から」、2014年7月29日~31日付・函館新聞朝刊寄稿(3回続き)
46. 「北海道新幹線開業に向けた連携態勢の整理と今後の課題ー北陸新幹線の開業準

備事例などから」、平成 25 年度青森県商工会議所連合会補助事業「商工業に関する調査・研究事業」、p28、2014.3

47. 「北陸新幹線開業に思う」、2014 年 1 月 15 日付北日本新聞朝刊寄稿
48. 「北陸新幹線の開業が東北地方の交通に及ぼす広域的変化の基礎調査～『2014 年問題』が提示する諸課題」、NETT、No.88、.48-52、ほくとう総研、2015.4
49. 「試される地域経営力：「全国最長の並行在来線・青い森鉄道」（特集 並行在来線と暮らし）、月刊『地理』、57(10)、68-75
50. 「整備新幹線の『開業効果』をどうみるか—青森県の事例から（特集 新幹線延伸により変わる地域）」、NETT（ほくとう総研）、78、10-13
51. 「九州新幹線開業前夜--新幹線開業がもたらしたもの」（7回連載）、九州経済調査月報／九州経済調査協会編、63-69、2010-2011
52. 『あらざる、等しからざるを憂えず』—巨大開発が青森県にもたらしたもの、地域政策（三重県）、2005 年・夏季号

◇東洋経済オンライン (<http://toyokeizai.net/>) 連載「新幹線は街をどう変えるのか」

1. 青い森鉄道が示すローカル線「上下分離」の光と影／最長の並行在来線、中心市街地との連携不可欠、2023 年 3 月 24 日
2. 津軽線、「鉄道存廃議論」の先にある地元の課題／蟹田—三厩間が存続しても住民連携は不可欠、2023 年 2 月 11 日
3. 西九州新幹線、つながる沿線と「佐世保の疎外感」／長崎駅前は「100 年に一度」の変貌の最中だが…、2022 年 12 月 9 日
4. 新幹線・八戸、「最もみすばらしい駅」からの大変貌／延伸開業 20 年、得た物あれば失った物も大きい、2022 年 11 月 12 日
5. 津軽線、被災して見えた「もし鉄道がなかったら」／8 月の豪雨で部分運休、乗合タクシーが振替輸送、2022 年 9 月 25 日
6. 北陸新幹線延伸「終点」、敦賀の意外な生き残り策／「在来線と乗り換え」を活性化につなげられるか、2022 年 8 月 6 日
7. 北陸新幹線延伸「1 年遅れ」で進む新駅と街の表情／小松から敦賀に巨大駅舎、地域の「顔」出そろう、2022 年 7 月 30 日
8. 北海道新幹線「延伸」、長万部と八雲の生き残り策／人口減に並行在来線、地域の課題が浮き彫りに、2022 年 6 月 23 日
9. 北海道新幹線、道民は「延伸」にどんな未来描くか／開発ラッシュに沸く現地、一方で「負の影響」も、2022 年 5 月 11 日
10. 北陸新幹線「かがやき素通り」小規模駅の生きる道／開業 7 年の沿線関係者「2 年後延伸」の敦賀も連携、2022 年 4 月 8 日
11. 加速する「四国新幹線」構想、カギ握る住民の支持／「四国だけ新幹線がない」嘆き、

共感得られるか、2022年1月28日

- 12.コロナ禍でも「駅前開発進んだ」新幹線駅の将来性／「何もない」揶揄された上越妙高駅は景観が一変、2021年11月6日
- 13.北陸新幹線「2023年春開業」は無謀な計画だった／福井駅周辺は延伸開業を目指して再開発が進む、2020年11月14日
- 14.「整備新幹線」、コロナで揺らぐ経済波及効果／過去の事例を参考にできない…地元は苦悩、2020年10月11日
- 15.新幹線10年目の青森、ねぶた中止で試練の夏／暖冬とコロナが影、危機の1年どう乗り切るか、2020年5月20日
- 16.花見できない弘前…新幹線青森開業10年目の涙／新型コロナが青森県内有数の観光都市に影響、2020年4月22日
- 17.『東京志向』だけではない、糸魚川の新幹線活用法／金沢・富山への新幹線通学が定着してきた、2020年4月17日
- 18.新幹線の札幌延伸で『長万部』起死回生できるか／開業11年後、『便利な田舎』の将来に不透明感、2020年3月12日
- 19.ジャズに最適？『日本一小さい新幹線駅』活用法／"コンサートホール並みの音響"に感動の声も、2020年1月21日
- 20.新幹線開業まで3年、『境界駅』敦賀の試行錯誤／乗り換え980万人予想、新たな文化つくれるか、2020年1月10日
- 21.長野県駅、リニアの『隣村』で住民は何を思う？／新駅ができる飯田市の東、豊丘村の将来、2019年12月11日
- 22.郊外の『ポツンと新幹線駅』、集客をどう図るか／新青森の駅ナカは充実、だが駅前が寂しい、2019年10月19日
- 23.新幹線延伸で『恐竜王国』福井はどう進化するか／開業準備が着々、在来線特急の行方に懸案も、2019年9月3日
- 24.北海道新幹線『牧草地帯』の新駅は何を狙うか／2031年春『札幌延伸開業』の活路はどこに、2019年7月11日
- 25.リニア開業『8年後』、長野・飯田の歓迎と戸惑い／積み上がる課題と残土、将来像をどう描く、2019年5月23日
- 26.北海道新幹線、札幌開業までの『長く短い12年』／『ホーム位置』決着、駅周辺の開発構想が始動、2019年3月26日
- 27.北陸・小浜、遠い『新幹線着工』への大きな期待／4年後に敦賀開業、地域の議論はまだ手探り、2018年1月23日
- 28.新幹線の途中駅、久留米のタフな生き残り策／『福岡一極集中』強まる中いかに戦ってきたか、2018年12月12日
- 29.新幹線開業3年半、金沢の街は何が変わったか／観光・ビジネス絶好調だが、新たな

懸念材料も、2018年11月14日

- 30.新幹線が『逆風』になった津軽と北海道の交流／元特急停車駅・蟹田、『風の町』は復活するか、2018年9月11日
- 31.北陸新幹線延伸まで5年 『空港の街』小松の今／鉄路と空路『敦賀開業』後の共存の行方は?、2018年7月24日
- 32.進まない駅前開発、集客や地元連携にも課題／開業2年『北海道新幹線』特需消えて正念場へ、2018年5月4日
- 33.乗降客数からは見えない『新幹線駅』の明暗／速達列車打ち切りの駅や『道の駅』で沸く駅も、2018年5月3日
- 34.YKK 本社機能移転と新幹線で変化『黒部』の今／整備新幹線構想の『夢』を実現した街の実際、2018年1月23日
- 35.ミニ新幹線 25年『フル規格』求める山形の今／地元で待望論加速「奥羽新幹線」の課題は、2017年11月25日
- 36.北海道新幹線は『海路が生んだ絆』を超えるか／北前船で全国とつながっていた『道南』の今、2017年9月24日
- 37.北陸新幹線が結ぶ『近くて遠かった』信越の絆／東京との観光客輸送とは違うもう一つの役割、2017年8月26日
- 38.新幹線が深めた『弘前と函館』の歴史的な縁／弘前大の学生は4人に1人が北海道出身、2017年7月16日
- 39.北陸新幹線『東北とひと味違う』駅前の開拓術／開業から2年『特需』が一段落した信越の今、2017年4月6日
- 40.新幹線は高い』青函間にフェリー復権の兆し／乗客増加、安さと速さで新幹線と棲み分けか、2017年3月12日
- 41.北海道新幹線1年、道南に『東北化』の兆し－ダイヤ改正で青森－函館はさらに遠く、2017年3月30日
- 42.『道の駅』来場55万人! 新幹線で変わる木古内／人口減少や高齢化が進む地の可能性、2017年2月7日
- 43.新幹線ルートのカギを握る『費用対効果』／北陸新幹線敦賀以西は『小浜・京都』に、2016年12月14日
- 44.開業2年目『北陸新幹線』、沿線駅の明と闇／駅前と市街地が競合する地域も、2016年10月27日
- 45.北海道新幹線、利用者倍増で意外な落とし穴／『嬉しい誤算』だが地元には課題も浮上、2016年10月05日
- 46.コンテナ店舗で挑む上越妙高駅前改革の勝算／北陸新幹線開業2年目、人口減へ新たな解?、2016年08月25日
- 47.行政・財界は熱望、しかし住民にはあきらめも／『四国新幹線』の建設は必要不可欠

といえるか、2016年6月29日

- 48.開業から5年、地震乗り越え経済効果は大／九州新幹線で『最も恩恵を受けた地域』は？、2016年5月19日
- 49.青函間は従来比で乗換や時間増大、料金高に／北海道新幹線、見えてきた地元・観光客の不満、2016年4月26日
- 50.全線開業5周年の祝賀ムードが一転したが…／熊本地震で寸断した『九州新幹線』復旧の行方、2016年4月25日
- 51.『道民の悲願』達成も、将来像はまだ見えず／新幹線開業初日、『変わる北海道』の姿を見た、2016年3月29日
- 52.本州最北端の新幹線駅がある青森・今別町／若者を惹きつける『日本一小さい新幹線の町』、2016年3月21日
- 53.道南の『ハブ』を目指す北海道・木古内町／新幹線駅に生かす青函トンネルの『苦い教訓』、2016年2月1日
- 54.人的連携が成否を握る『北海道新幹線』／函館と青森、新幹線効果は海峡を超えるか、2016年1月5日
- 55.北海道新幹線、運賃や本数…逆風下の開業！／遠すぎる終着駅、『新函館北斗』が抱える課題、2015年12月28日
- 56.異彩を放つ長野北端『ブナの駅』飯山／北陸新幹線『かがやき』が通過する駅の模索、2015年12月2日
- 57.連携構築しづらい『大きな1人っ子』／北陸新幹線開業で浮き彫りになる新潟の苦悩、2015年10月9日
- 58.開業で新潟県分裂の危機も？／北陸新幹線開業で露呈した上越の『悩み』、2015年9月15日
- 59.『第2の開業』がもたらした市民の変心／新幹線「途中駅」になった長野が栄える理由、2015年8月24日
- 60.『金沢独り勝ち』をどう克服するか／北陸新幹線を喜べない富山県民の複雑な思い、2015年8月6日
- 61.観光業の活性化だけでは残念すぎる／東北新幹線の延伸で沿線都市が得た『果実』、2015年7月9日

◇その他

※朝日新聞（北海道版・青森県版・福井県版）、毎日新聞（全国版・北海道版）、読売新聞（全国版・北海道版・青森県版）、日本経済新聞（全国版）、北海道新聞、新潟日報、河北新報、北國新聞、福井新聞、日刊県民福井、信濃毎日新聞、北日本新聞、北陸中日新聞、週刊AERA、週刊SPA、東奥日報、TBS、青森放送、青森テレビ、札幌テレビ、北海道テレビ、NHK（青森・東北エリア・北陸エリア）などに整備新

幹線・人口減少問題・選挙問題などでインタビュー記事、コメント掲載・オンエア。
また、「新幹線は地域をどう変えるのか」の書評・紹介記事が北海道新聞、東奥日報、北日本新聞、北國新聞、富山新聞、福井新聞などに掲載。

[その他の活動]

弘前大学大学院地域社会研究科客員研究員（2013年4月～）
愛知大学三遠南信地域連携研究センター客員研究員（2019年6月～）
日本地理学会代議員（2022年9月～）
東北地理学会評議員（2013年5月～2017年4月、2019年5月～2023年4月、
2025年5月～）
弘前大学非常勤講師（2017年4月～）※前期のみ
青森地方労働審議会委員・会長（2013年9月～、2023年9月～）
青森労働局労働関係紛争担当参与（2015年4月～）
トラック輸送における取引環境・労働環境改善青森県協議会座長（2024年3月～）
青森県トラック協会・青森県適正化事業実施機関評議委員長（2024年3月～）
青森県農村地域資源の保全管理の推進に関する第三者委員会委員（2021年6月～）
青森県立青森西高等学校・学校運営協議会委員長（2024年4月～）
協同組合青森総合卸センターSDGs推進管理委員会委員長（2021年9月～）
J A F 青森支部交通安全実行委員長（2016年4月～）
NPO法人青森県防災士会理事（2012年4月～）
NPO法人ひろだいリサーチ理事（2014年5月～）
幸畠団地地区まちづくり協議会運営委員（2014年7月～）
青森 KEN 民塾・世話人（2012年5月～）
一般社団法人 EDIT 青森理事（2022年1月～）

青森県立保健大学非常勤講師（2020年9月～2025年3月）
放送大学非常勤講師（2014年度～2016年度）
弘前学院大学非常勤講師（2020年4月～2021年3月）
日本地理学会企画専門委員（2006年4月～2010年3月）
経済地理学会評議員（2016年5月～2018年5月）
青森地方最低賃金審議会委員（2015年4月～2017年3月）
青森県不活動宗教法人対策アドバイザー（2018年6月～2021年3月）
青森県中山間地域対策協議会委員（2016年3月～2021年5月）
青森県人口減少社会対応型商店街構築事業・戦略策定委員会委員
(2015年7月～2017年3月)
青森市いじめ防止対策審議会会長（2015年6月～2017年5月）

青森大学×平内町連携プロジェクト実行委員会・副実行委員長（2014年11月～）
青森市町会連合会広報委員会・町連だより編集委員（2021年3月～2021年12月）
こぎんフェス実行委員会委員（2013年2月～2017年3月）
新幹線ほくとう総研連携研究会会員（2014年10月～2015年10月）
青森県オープンデータ検討会委員（2014年4月～2016年3月）
青森県あおもり共助社会づくり推進事業協働プロジェクト認定審査会委員
(2014年6月～2016年3月)
文部科学省大学設置審議会文学専門委員会委員（2010年4月～2013年3月）
新聞労連・産業政策研究会研究員
(2007年8月～2013年9月・座長=2011年9月～2013年9月)
新聞労連・消費税問題対策チーム・コーディネーター
(2013年12月～2014年4月)
「大学生観光まちづくりコンテスト」北日本ステージ・青森ステージ運営委員
(2014年4月～2017年3月)
上越市・信越県境地域づくり交流会地域研究グループ企画編集会議委員
(2020年度)
協同組合青森総合卸センターSDGs推進委員会委員長
(2020年9月～2021年3月)

[公開講座、講演、セミナー]

1. 「北陸3県の若者流出にどう向き合うか: 人口減少社会の再デザインー新幹線をキーワードに」、「北陸は1つ、政策研究チーム」第1回会議、福井県庁、2025年4月25日
2. 上越妙高駅フォーラム・10年の軌跡と未来への展望「新幹線の開業から延伸 そして地域の未来を考える」、フルサット（上越市）、2025年3月22日
3. 北海道新幹線旭川延伸促進期成会勉強会「北海道新幹線・旭川延伸 論点整理—これまでとこれから」、旭川アートホテル、2025年1月31日
4. 新幹線フォーラム「北陸・福井開業から北海道・札幌延伸へー青函圏で課題と未来を考える」主催・基調報告（あおもりスタートアップセンター+Zoom）、2025年1月18日
5. 第52回北海道高等学校地理教育研究会・長万部大会講演「長万部から見渡す過去・現在・未来ー歴史と文化、新幹線をキーワードにー」、長万部町多目的活動センター「あつまんべ」、2024年8月2日
6. 今別町・公民館歴史講座（いまべつを語り継ぐ会）「青函トンネル・津軽海峡の70年 どうなる貨物列車存続・北海道新幹線高速化」、今別町中央公民館、2024年6月6日
7. 青森法人会・勉強会「人口減少社会の再デザインー消滅可能性自治体を考える」、青

森県食糧会館、2024年5月22日

8. 科学研究費助成事業「地域医療に整備新幹線・並行在来線が及ぼす効果の地理学的研究と地域医療政策への貢献」(基盤研究C) 上越報告会、上越市知命堂病院、2024年3月4日
9. 新幹線フォーラム「『福井×青函圏』絆と未来ー北陸・敦賀延伸から北海道・札幌延伸へー」主催・基調報告(あおもりスタートアップセンター+Zoom)、2024年1月20日
10. 科学研究費助成事業「地域医療に整備新幹線・並行在来線が及ぼす効果の地理学的研究と地域医療政策への貢献」(基盤研究C) 青森報告会、あおもりスタートアップセンター、2023年12月2日
11. 「3.16」をまちづくりのスイッチに、新幹線開業に向けて越美北線を考える会、福井市木ごころ文化ホール、2024年3月3日
12. 新幹線敦賀延伸は北陸をどう変えるか、北國総研ビジネス懇話会、北國新聞赤羽ホール、2024年2月19日
13. 仲間づくりへの踏み出し方ー調査・研究・大学生活からのヒントー、令和5年度 青森県多面的機能支払交付金活動組織リーダーの集い、十和田市民文化センター、2023年12月26日
14. 新幹線でまちをどう変えるのかー卒業のない入学式ー、まちづくりセミナー新幹線時代のまちづくりー、福井県国際交流会館、2023年10月27日
15. 2024年問題における県内の課題について、第27回青森県交通シンポジウム／青森県交運労協、青森労働福祉会館、2023年10月23日
16. 『東九州』の可能性と課題ー全国の状況から考えるー、大分県東九州新幹線整備推進期成会、2023年8月24日大分センチュリーホテル
17. 『東九州』の可能性と課題ー本州北端から整備新幹線をみるー、大分経済同友会、大分市・トキハ会館、2023年6月15日
18. 人口減少社会の再デザイナー「自分はどこでどう生きるか」を青函圏で考える、3回青函みらい会議「人口減少×青函のみらい」青函で若者の『幸せな暮らし』を再発見！～地域から新しい人の流れを生み出そう～基調講演／コーディネーター、青森財務事務所／Zoom、2023年6月2日
19. 新幹線フォーラム「「人口減少×新幹線」社会の再デザイナー八戸開業20周年・札幌延伸と在来線の行方」主催・基調報告(あおもり新幹線研究連絡会)、あおもりスタートアップセンター、2023年1月21日
20. 「「人口減少社会の再デザイン」は可能かー青森県の視点からー」、国立社会保障・人口問題研究所・「持続可能な地域社会構築に向けた人口分析」プロジェクト研究会講演(オンライン)、2022年11月2日
21. 「2024年春・新幹線時代の再デザインー巨大な条件変更にどう向き合うかー」、福

井経済同友会・10月例会講演会、福井県国際交流会館、2022年10月28日

- 22.北陸新幹線ワークショップ「「敦賀一関西」どうなる？どうする？」、北陸新幹線建設促進同盟会、We Work LINKS UMEDA（大阪市）、2022年8月25日
- 23.「「巨大な条件変更」に向き合う一「まちの文化の曲がり角」をどう越えるか」、北陸新幹線敦賀開業に向けた庁内勉強会（敦賀市役所）、2022年6月24日
- 24.北海道政経懇話会講演「2031年春・巨大な条件変更 新幹線で札幌／北海道をどう変えるのか」、2022年4月22日、札幌パークホテル
- 25.北陸新幹線沿線連絡会議・北陸新幹線開業7周年記念フォーラム・モデレーター、2022年3月12日、オンライン
- 26.新聞労連・東北地方連合会・産研集会パネルディスカッション「コロナ下の復興五輪・パラ五輪をどう報じたか、どう伝えたか」コーディネーター、2022年2月22日、オンライン
- 27.「おもてなしフォーラム『はっしん！新青森』—雪国の新幹線駅のおもてなし」、2021年11月22日、青森西高校（青森西高校と共催）
- 28.「四国の新幹線」勉強会「21世紀の新幹線—まちづくりの考え方と課題ー」、2021年12月24日、高松商工会議所
- 29.山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟・令和3年度促進大会基調講演「「21世紀の新幹線」の役割—コロナ・人口減少の向こうへー」、2021年11月18日、オンライン
- 30.青森中央市民センター出張講義「新幹線のこれまでとこれから—東北新幹線全線開通・新青森開業10年」、2021年11月11日
- 31.小樽商科大学・観光産業の中核を担う経営人材育成講座「青函での広域観光と地域づくり—整備新幹線の沿線から見える風景ー」、2021年11月8日、サン・リフレ函館
- 32.青森・函館財務事務所・青函みらい会議「縄文時代から学ぶSDGsと地方創生～Withコロナの青函みらい像～」パネリスト、2021年6月11日
- 33.沖館市民センター出張講義「新幹線のこれまでとこれから—東北新幹線全線開通・新青森開業10年」、2021年5月28日
- 34.新聞労連・東北地方連合会・産研集会パネルディスカッション「東日本大震災10年 地域のあしたをどうつくるか」コーディネーター、2021年4月16日、オンライン
- 35.「光を探そう」、公開講座奥津軽・北海道新幹線開業5周年座談会講話、2021年3月23日、中泊町パルナス
- 36.「整備新幹線と拠点移転—各地の事例からー」、株式会社北信越地域資源研究所、「『Multiple Locations／多拠点』という選択～アフターコロナにおける生き方の見つけ方～」、2021年3月21日、オンライン
- 37.「『絶えざる最適化』どう追求—『巨大な条件変更』としての新幹線開業」、九州経済調査協会オンライン・フォーラム「九州新幹線全線開業10年の効果と影響」、2021

年3月9日

- 38.「北海道新幹線で地域をどう変えるのかー10年後への『物語』を考えるー」、北海道新幹線建設促進期成会令和2年度第1回幹事会、2021年2月19日、オンライン
- 39.「リニア中央新幹線と地域経営～7年後への視点と工程表～」、オンラインシンポジウム「リニア開業を見据えた下伊那北部5町村の地域づくり」、2021年3月3日
- 40.「地域防災力をどう高めるか」、青森市・中央女性大学・大学院講演（青森市中央市民センター）、2020年12月16日
- 41.「リニア新幹線とまちづくりー郊外駅の行方・コロナ時代の新幹線」、飯田市議会リニア推進特別委員会研修会、2020年12月11日（オンライン）
- 42.東北新幹線開業10周年記念オンライン・フォーラム「東北新幹線は何をどう変えたか コロナ時代にどう変わるか」主催、2020年12月4日（あおもり新幹線研究連絡会と共に）
- 43.北陸新幹線敦賀開業に向けたまちづくりシンポジウム・パネリスト、2020年10月31日、敦賀市・プラザ萬象
- 44.「地域を楽しみ、味わい、生きるー青森県の経済・産業ー」、青森セレクトプロジェクト学習会、2020年10月28日、青森県立青森西高等学校
- 45.「『リニア』と地域をどうみるかーウィズ・コロナ時代に向けてー」、政策情報センター京都全国政策研究会・「リニアと生活交通圏」分科会講演、2020年8月25日、オンライン
- 46.「地方メディアのこれまでとこれから」、青森朝日放送ワークショップ、2020年8月5日
- 47.新幹線オンライン・フォーラム「新幹線は地域をどう変えるのかーウィズ・コロナ時代に向けて」主催・基調報告（あおもり新幹線研究連絡会）、2020年7月4日
- 48.オンライン勉強会「地理必修化を東北から考える」、2020年6月27日（「地理必修化を東北から考える」実行委員会事務局として、三橋浩志、山内洋美、廣瀬俊介と共に、東北地理学会後援）
- 49.「幸畠団地地区まちづくり協議会と青森大学の連携 2019」、青森大学・青森地域フォーラム、2020年2月15日
- 50.「『人口減少×新幹線』フォーラム・地域と在来線をどう守るのかー青い森鉄道・JR津軽線・津軽鉄道」主催・基調報告（あおもり新幹線研究連絡会）、あおもりスタートアップセンター、2020年1月18日
- 51.「北陸新幹線開業が地域に及ぼす影響ー新幹線は敦賀をどう変えるのか」、北陸新幹線敦賀開業に向けたまちづくり勉強会（敦賀市）、2019年11月22日
- 52.「おもてなしフォーラム『はっしん！新青森』ー駅を起点にした情報発信とおもてなし」、青森西高校と共に、2019年11月11日
- 53.「『リニア』をどう迎えるかー県境を越えた地域連携ー」、第12回三遠南信しんきん

サミット（飯田信用金庫） 2019年11月3日

- 54.「新幹線延伸が地域の観光に与える影響—過去の事例から—」、経済地理学会・登別地域大会シンポジウム、2019年10月26日
- 55.「あけたん 19歳学生たちに社会の楽しさを叩き込む3『君たちには22世紀が見える』」、青森明の星短期大学・公開授業 2019年9月19日
- 56.「新幹線を通じた地域づくりを考える／『駅のメディア化』の可能性と課題」、2019年7月18日、新幹線駅前フルサット講座、フルサット（新潟県上越市・上越妙高駅前）
- 57.「『3年後』の敦賀開業を見据えた期待と課題」、2019年6月22日、若狭青年会議所・第45回新順造館、ホテルせくみ屋（福井県小浜市）
- 58.「リニア中央新幹線と地域経営 『8年後』への視点と行程表」、2019年6月14日 豊丘村リニア活用戦略研究会、農家民宿ひがし（長野県豊丘村）
- 59.「青函交流の可能性と課題—他の新幹線地域との比較から—」、青函地域経済活性化フォーラム（第5回）、2019年5月28日、北斗市総合文化センター
- 60.「地域と学生・大学の協働が拓く未来—青森大学の社会貢献活動—」、SDGs フォーラム、2019年3月2日、青森大学
- 61.「『新幹線時代』の迎え方：政治・行政・経済・市民目線の時間軸」、北海道新幹線建設促進期成会・第3回北海道新幹線札幌開業を見据えた研究会、2019年2月22日、札幌グランドホテル
- 62.「北陸新幹線の敦賀延伸に向けた期待と課題」、地方創生セミナー in 福井、2019年1月29日、ザ・グランユアーズフクイ
- 63.「人口減少社会と新幹線の役割」、置賜地域奥羽新幹線整備・米沢一福島間トンネル整備実現同盟会、2018年12月26日、米沢市・グランドホクヨウ
- 64.新幹線フォーラム「青函・北陸・九州—新幹線は地域をどう変えるのか」主催・基調報告（あおもり新幹線研究連絡会）、あおもりスタートアップセンター、2018年12月18日
- 65.「新幹線は小浜をどう変えるのか—人口減少社会の再デザインー」、新幹線とまちづくり・新幹線講座、2018年11月23日、小浜市働く婦人の家
- 66.新幹線学研究会函館集会・全国越境連携フォーラム「『新幹線学』をつくるなら：整備新幹線とその沿線のこれまでとこれから」、函館市Gスクエア、2018年11月17日（愛知大学三遠南信地域連携研究センター【越境地域政策研究拠点】2018年度共同研究・地域間交流研究）
- 67.「北海道新幹線の可能性と課題—人口減少社会をどう再デザインするか」、第9回『津軽海峡交流圏』北海道・青森県連絡調整会議、2018年7月12日、八戸市ユートリー
- 68.「人口減少・高齢社会をどう乗り越えるか—北海道新幹線の開通と物流・地域振興」、パルシステム生産者・消費者協議会・2018年度東北・北海道ブロック会議講演、2018

年 6 月 21 日、弘前市・弘前プラザホテル

69. 「『終点・敦賀』時代をどう迎えるかー小松空港と北陸新幹線の共生」、小松空港国際化推進協議会、2018 年 6 月 14 日、小松商工会議所
70. 「人材流出にみる地域の課題ー働く・暮らす・生きることの意味と労組の役割」、日本労働組合総連合会・北海道・東北ブロック労働委員会労委連絡協議会、2018 年 6 月 8 日、青森県労働福祉会館
71. 新幹線フォーラム「北海道新幹線は「境」「絆」をどう変えるのか」主催・基調報告、2018 年 1 月 20 日、青森市・新町キューブ
72. 「あなたのちからを地域で活かそう！ー市民参加型のまちづくりデザイン」、青森青年会議所あおもりデザインフォーラム、2017 年 10 月 28 日、青森市・アピオあおもり
73. 「四国新幹線で未来をどう変えるのかー構想推進への論点整理」、四国経済連合会・地域づくり連合会、資源・環境委員会、2017 年 11 月 6 日、函館市・フォーポイントバイシェラトン函館
74. 「北海道新幹線は青函圏をどう変えるのかー地域を支える人・ビジョン・金融」、2017 年 10 月 10 日、青森県銀行協会
75. 「フル規格新幹線整備の意義と課題ー新幹線で山形をどう変えるのか」、山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟 「フル規格新幹線で地域活性化」セミナーin 最上、2017 年 9 月 20 日、新庄市・メモリアルプラザ大地会館
76. 「北海道新幹線で檜山をどう変えるのか」、平成 29 年度第 2 回ひやまの観光をみんなで考える会、2017 年 8 月 28 日、江差町・檜山振興局
77. 「人口減少社会にどう向き合うかー浪岡地区の『今』『未来』と町会」浪岡地区町内会連合会・研修会、2017 年 7 月 20 日、青森市浪岡中央公民館
78. 「『札幌・北海道 2031 年』に向けてー北海道新幹線建設促進期成会・提起」、2017 年 6 月 21 日、札幌市・ニューオータニイン札幌
79. 「観光交流拠点としての木古内町の役割」、木古内町観光協会まちづくり学習会、2017 年 6 月 9 日、木古内町・石川屋
80. 青森法人会経理研究会・第 361 回月例会 「新幹線ネットワークを考えるー北海道新幹線の開業効果と今後の課題について」、2017 年 4 月 18 日、青森県食糧会館
81. 青森青年会議所・あおもり未来サミット 「人口減少社会にどう向き合うかー青森市の『今』と『未来』」、2017 年 4 月 16 日、サンロード青森
82. 北海道新幹線開業 1 周年記念フォーラム基調講演 「道南と東北・青函の将来像ー北海道新幹線の開業効果と今後の課題について」、2017 年 3 月 25 日、函館市・ホテル函館ロイヤル
83. 「『かがやき』をどう超えていくかー人口減少下の北陸新幹線活用法をめぐって」、2017 年 2 月 20 日、上越市議会講演、同市議会

84. 「幸畠ヒルズと青森大学のこれまでとこれから」、2017年2月18日、青森大学・第4回青森地域フォーラム、青森市しあわせプラザ
85. 青森県委託事業「地域社会・企業を通じて考える青森県内で『働く・生きる』ことのポテンシャル研究事業」発表会開催、2017年2月16日、青森大学、NPO法人ひろだいリサーチと共に
86. 青森地方気象台講演「『防災』と地域をどう結ぶか」、2017年2月14日、同気象台
87. 公開フォーラム「北海道新幹線は青函圏をどう変えるのか」主催・基調報告、新町キューブ、2017年1月28日
88. 日本商工会議所「地域振興と整備新幹線に関する勉強会」講師、2016年12月26日、(同所)
89. 「新幹線ネットワークを考える－北海道・東北・北陸・九州」、平成28年度公益社団法人青森県不動産鑑定士協会一般開放講演会、2016年10月14日、ワ・ラッセ
90. 黒石市・未来塾「地域で高める防災力～災害時のリスクと心構え～」、2016年10月4日、浅瀬石公民館
91. 青森県社会教育センター・ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナー「地域課題克服のためのネットワークを広めよう！－人口減少・高齢化への適応に向けて－」、2016年10月19日・青森県総合社会教育センター、10月21日・八戸市視聴覚センター児童科学館、10月21日・弘前市中央公民館岩木館
92. 三陸防災社会研究会「今だからこそ未来へつながるまちづくり講演会」、「鉄道とまちづくり－論点整理の試みー」、2016年9月2日、大船渡市・カメリアホール
93. 松山商工会議所・産業振興委員会「函館・青森視察」講話「新幹線は地域をどう変えるのか－ 東北・九州・北陸・北海道 －」、2016年8月1日、函館市・ロワジールホテル函館
94. 青森市・沖館市民センター講演「まちづくりの視点から考える東北・北海道新幹線のゆくえ」、2016年7月14日
95. 五戸町民大学講座「地域防災力をどう向上させるか」、2016年3月17日、同町役場
96. NPO法人あおもり若者プロジェクト・クリエイト第21回「まち塾」講演「新幹線がやってくる」、2016年2月27日、青森市民ホール
97. 青森大学・第3回青森地域フォーラム報告「東北・北海道新幹線の行方」「青森大学の地域貢献－連携協定パートナーとの活動を中心に」、2016年2月20日、青森中央市民センター
98. 北海道経済産業局「北海道新幹線開業を契機とした産業活性化セミナー」講演・「北海道新幹線開業をどう生かすか」、2016年2月19日、札幌市
99. 公開フォーラム「まち・駅・未来を考える－北海道新幹線開業に向けてー」主催・基調報告、新町キューブ、2015年12月12日
100. 「新潟の新幹線とその活用の課題」、「にいがた22の会」例会講演、2015年12月

3日、新潟市

- 101.「人口減少時代における地域社会と『家』の役割について」、青森県宅地建物取引業協会・ハトマーク消費者セミナー、2015年11月3日
- 102.「北海道・新函館北斗開業あと7カ月・新幹線をどうみるかー青森・全国の事例からー」NHK函館放送局・勉強会講師、2015年8月26日
- 103.「幸畠における空き家活用について」、不動産保証協会青森県本部・第1回青森地区一定課程法定研修会、2015年7月28日
- 104.「北陸新幹線延伸開業後の現状と対策について」、新潟商工会議所・輸送業部会講演、2015年7月24日、同所
- 105.「地域防災力をどう向上させるか」、青森市・沖館市民センター研修会、2015年11月26日
- 106.「東北新幹線が変えた青森ー北海道新幹線開業に向けてー」、鉄道・運輸機構講演、2015年9月8日、アスパム
- 107.「東北新幹線と北海道新幹線」、青森市・油川寿大学院、2015年12月18日、油川市民センター
- 108.「自閉症の人たちが住みやすい街づくり～災害時も安心できる地域社会～」、青森県自閉症協会講演会、2015年7月25日、青森県総合社会教育センター
- 109.「どう見る第三の新幹線開業ー金沢・富山の事例からー」、問屋町支店長・所長連絡会第8回定期総会・講演、2015年5月14日、青森市・ホテル青森
- 110.「国土政策と地域振興策から見た東北・北海道新幹線の意義」、新幹線ほくとう連携研究会・第3回会合、2015年5月13日、札幌市(一般財団法人・北海道東北地域経済総合研究所主催)
- 111.板柳ロータリークラブ定例会講演「新幹線が変えた青森」、2015年4月7日、板柳町
- 112.公開フォーラム「新幹線が変えた青森・弘前・八戸」主催・基調報告(青森大学地域貢献センター共催・あおもり観光デザイン会議協力)、青森中央市民センター、2015年1月31日
- 113.はちのへ観光復興委員会・八戸前沖さばブランド推進協議会・観光セミナー「新幹線が変えた八戸」講演(2015年1月29日)
- 114.むつ市民生委員児童委員研修会「地域防災力をどう向上させるか」(2015年1月9日、むつ市)
- 115.今別町役場・職員勉強会「Facebookを活用した情報発信」(2014年12月12日、同町役場)
- 116.大学コンソーシアム富山・第2回コラボ塾講演「新幹線時代の『富山』像ー先行事例から考える」(2014年12月9日、富山市)
- 117.青森大学公開講座「第2回まちなかキャンパス」講演「県民の視点からみた東北新

- 幹線開業」（2014年11月26日、青森市・シュトラウス）
- 118.新聞労連東北地連・拡大常任委員会講演「若者と語らい未来へ～『オヤジ』からの新聞奪回作戦」（2014年11月21日、弘前市民センター）
- 119.「空き家で空き家シンポジウム」開催（2014年10月2日、幸畠団地地区まちづくり協議会・青森県住みかえ支援協議会と共催、幸畠団地）
- 120.NPO法人クリエイト・第5回まち塾授業「まちで暮らす 地域と生きる」（2014年9月23日、青森市）
- 121.東北活性化研究センター・津軽海峡圏広域観光シンポジウム in 仙台「新幹線が変えた東北の現状と課題」（2014年9月4日、仙台市）
- 122.青森大学オープンカレッジ「新幹線と青森の将来ー『函館』に向けて『新青森』を考える」（2014年5月9日）
- 123.青森大学・第1回青森地域フォーラム「青森の今と未来を考える」、報告「幸畠プロジェクト」（2014年3月8日、リンクステーションホール青森）
- 124.青森商工会議所・食品部会総会講演「食を通じた街おこし」（2014年2月27日、青森市）
- 125.青森市消費者教育モデル事業・青森市「クッキー」（自立訓練・生活訓練施設）講演（2014年2月17日、同所）
- 126.幸畠団地・居住状況調査報告会報告「幸畠団地の居住状況調査について」（2014年2月8日、青森市幸畠福祉館）
- 127.青森公立大学・金融学習会講演「新幹線とまちづくり」（2013年12月18日、同大）
- 128.新聞労連・消費税対策検討チーム・検討会コーディネーター（2013年12月～2014年4月、6回、東京都）
- 129.観光カリスマ角田周氏主催シンポジウム・東北新幹線新青森開業3周年記念「新幹線活性化カリスマ放談」（2013年12月4日、アウガ）
- 130.青森市観光ボランティア交流会・講師「『はやぶさ』のある風景とボランティア」（2013年11月1日、青森市観光交流施設ワ・ラッセ）
- 131.青森大学・青森商工会議所「まちなかキャンパス」第1回講演「新幹線とまちづくり」（2013年9月12日、アウガ）
- 132.宮崎公立大学・ジャーナリズム論ゲスト講義（水野剛也教授集中講義）「宮崎の明日はどっちだ!?—メディアの行方と若者の未来」（2013年8月28日）
- 133.宮崎日日新聞労働組合・産業政策研究講演会講師「宮日の明日・宮崎の未来」（2013年8月27日、同社）
- 134.新聞労連・産業政策研究会全国集会（主催、ワークショップ講師、2013年8月24～25日、東京都）
- 135.函館・新幹線開業対策塾講演「津軽からみた新青森開業－整備新幹線と地域の課題

－」（2011年2月8日、函館市）

- 136.新聞労連・中四国地連春闘討論集会講演「『NIE』『読者ニーズ』の視点から－産政研2010年報告書を読む（2011年1月14日、松山市）
- 137.青森中央学院大学・連続公開講座講義「新幹線開業をめぐる光と影－東北新幹線全線開通－」（2010年9月1日、同大）
- 138.新聞労連東北地連春闘学習会講演「新聞が生き残っていくには」（2010年2月4－5日、福島市）
- 139.「あおもり経済デザイン会議」提起・パネリスト「新幹線開業をどうとらえるか－青森・津軽の現状と課題」：（青森市、2010年2月19日、青森市）
- 140.新聞労連九州・沖縄地連春闘学習会講演：「新聞が生き残っていくには」（2010年1月21日、大分市）
- 141.新聞労連九州・沖縄地連春闘討論集会講演：「嵐にたつ新聞－マルチメディア社会の中で」（2009年1月15日、福岡市）
- 142.「新幹線開業をどう迎えるか－『東北』の事例から」（第3回「北海道新幹線地域活性化フォーラム」、2008年11月8日、函館市）
- 143.コーポあおもり研修会講演：「21世紀をどう生き抜くか－高齢化・人口減・新幹線開業・暮らしの知恵」、2008年11月21日、青森市）
- 144.国土交通省東北運輸局主催・鉄道シンポジウム・パネリスト提起「『2010年』へのハドラー東北新幹線・新青森駅開業－」（2008年10月、青森市）
- 145.日本地域政策学会シンポジウム「港・駅を活かしたコンパクトなまちづくり」討論者：（2008年7月6日、名古屋市）
- 146.福岡県主催・九州新幹線研修会講師「新幹線開業と地域振興－『2011年春』への視点－」（2008年10月、久留米市）
- 147.経済地理学会北東支部10月例会シンポジウム「改正まちづくり三法の施行と地方都市中心商店街の再生について」報告：「コンパクトシティの取り組みと背景－青森市を中心に」（2006年10月21日）

【学内各種委員】

（全学）青森大学付属総合研究所・紀要編集委員長、社会連携センター・社会連携委員会、不正防止計画推進部署、危機管理委員会・危機対策本部